

令和3年 鳥羽市教育委員会会議録

第10回 定例会

場 所 鳥羽市教育委員会事務局 会議室

期 日 令和3年10月27日（水）

開 会 午後1時30分

閉 会 午後4時20分

出席委員	委 員	中 村 和 久
	委 員	浅 尾 美 沙
	委 員	中 島 幸 代
	委 員	奥 村 楠 治
	教 育 長	小 竹 篤

出席職員（説明員及び書記）	総務課長	山 本 勝 利
	学校教育課長	山 下 幸 也
	生涯学習課長	岡 本 昭 太
	（書 記）	
	総務課庶務係長	天 田 雄 也

件 名	日程第1 会議録（令和3年第9回定例会）の承認について
意見及び指摘事項 及び 事務局説明	【意見・指摘】 なし
議 事 結 果	承 認

件 名	日程第2 諸報告について
報 告 事 項	<p>1. 教育長諸活動 [場所]</p> <p>9月30日（木）市議会[本会議場]</p> <p>10月 1日（金）定例記者会見[議会委員会室]</p> <p>4日（月）中島教育委員辞令交付式[市長室] 教職員団体懇談会[鳥羽商工会議所]</p> <p>7日（木）南志教育長会[オンライン]</p> <p>12日（火）「活力ある学校づくり」予算懇談[オンライン]</p> <p>13日（水）市民栄誉賞検討会議[市長室]</p> <p>14日（木）「活力ある学校づくり」予算懇談[オンライン]</p> <p>15日（金）答志地区保護者懇談会 [答志コミュニティアリーナ]</p> <p>18日（月）市校長会[鳥羽商工会議所・安楽島小学校]</p> <p>19日（火）県へき地複式研究大会[松阪ワークセンター]</p> <p>20日（水）就学時検診[市保健福祉センターひだまり]</p> <p>21日（木）政策会議[市長室] 県学校保健会理事会[県庁]</p> <p>25日（月）成人式実行委員会[教育委員会会議室]</p> <p>26日（火）定例記者会見[議会委員会室] 鳥羽好きふるさと給食[加茂小学校]</p> <p>27日（水）市議会全員協議会[議会委員会室] 定例教育委員会[教育委員会会議室]</p> <p>2. 教育長諸報告 (教育長)</p> <p>10月4日に、中島教育委員に辞令交付させていただきました。</p> <p>10月5日には、鳥羽商船高等専門学校の江崎先生にお越しいただきました。東京の町田市で小学校6年生が自殺する事件がありました。そこで問題になったのが、学校から配布されたタブレットのチャット機能を使用して悪口が書かれていたということで、報道等であたかも学校がタブレッ</p>

報 告 事 項

トを配布したため自殺したというような論調になっています。実際に ID やパスワードが簡単に推測できる状況で、なりすましがしやすい状況だったそうです。今後、そういうことを防止するために、江崎先生からアイデアをいただき、10月18日の市校長会に向けての事前打合せをさせていただきました。

10月13日には、市民栄誉賞の検討会をさせていただきました。今まで鳥羽では市民栄誉賞の制度はありませんでしたが、今回山田選手の金メダル獲得を契機に創設し、第一号を山田選手に受賞していただく方向で進めています。

10月15日には、答志地区の保護者懇談会を開催しました。後程詳しく報告させていただきます。

10月18日には、市校長会を開催しました。この内容につきましても後程報告させていただきます。

10月20日は、就学時検診として、来年度小学校へ入学するお子さんを対象に健康診断を行いました。安楽島小学校、加茂小学校、鳥羽小学校へ入学予定のお子さん達はひだまりで実施しました。離島や弘道はそれぞれの地域で実施しました。以前は各学校で行っていましたが、学校やお医者さんの負担軽減のため、ある程度まとまったの実施とさせていただいています。

10月25日には、成人式の実行委員会をさせていただきました。今年の実行委員のみなさんは、非常にやる気で自主的に活動してくれています。今年は実行委員のみなさんから、こうしたいという意見を積極的に聞いています。ただ、新型コロナの状況で参列者等については状況をみながら考えていく必要があると思っています。

3. 児童生徒及び学校の状況・情報交換

(1)新型コロナへの学校対応状況

(学校教育課長)

現在は、全ての学校が通常通りに授業等を行っています。市内の学校でも感染者が報告された事例もありましたが、どの学校もしっかり手指消毒等を実施し、感染防止に努めています。昨日も加茂小学校で給食の様子を見せてもらいましたが、黙食が徹底されていて、誰も喋っていませんでした。リモート授業については、現在は必要ないということで実施していません。第6波がいつ来るか分かりませんので、それに備えていつでもリモート授業に切り替えられるように学校内で工夫しながらタブレットを活用した授業をするなど対応してもらっている状況です。

(2)各校の修学旅行・運動会の実施状況

(学校教育課長)

修学旅行の実施状況につきましては、今朝、鳥羽東中学校の生徒が全員無事に出発しました。まだ実施していないところは、加茂小学校が11月1日～2日、答志中学校が10月31日から3日間、鳥羽小学校が11月24日～25日です。中学校は全て南紀方面で実施です。小学校は南紀まで行く学校と、熊野・尾鷲までという学校があります。鳥羽小学校は県の北部へ行く予定です。延期等色々ありましたが、結果的には新型コロナの状況もおさまり、いい時に行けるようになりました。

運動会については、ほとんどの学校が終わっています。安楽島小学校が次の土曜日に実施予定です。参加者の制限をしたり、オンラインで配信したりと何とか工夫しながら実施してもらっていますので、行事は順調です。

(教育長)

運動会は、通常ですと、私達教育委員会も来賓として招待されていましたが、全て来賓なしで実施となりました。行事については、学校毎に色々考えてもらいながら気を付けて実施してくださいと声をかけています。

今後、卒業式・入学式も控えています。できれば通常に戻っていきたいという気持ちはありますが、新型コロナの感染状況をみながら進めていきたいと思います。

4. 市議会について

(1)12月補正予算

(総務課長)

以前に幼稚園給食費の過徴収がありましたので、その払戻分に係る給食協会への負担金を要求させてもらっています。

かもめ幼稚園も埋立地に建っているため、地中埋設の給水管に不具合が出ていますので修繕費をお願いしました。

8月に各学校の普通教室や学習室を中心に新型コロナ対策の予算を絡めて抗菌コーティングを施しました。それが想定していたより安く入札できたので、その残金を減額する補正をあげています。その減額分を使い新しいパソコンを購入する予算を学校教育課より計上していく予定です。

(学校教育課長)

抗菌コーティングの減額分で指導者が学習に使用するパソコン分を計上させていただきました。最近、動画等を使用する授業もあり、スペック的な問題もあります。また、養護教諭もパソコンを使用してオンラインで子ども達の健康観察をすることもあります。非常勤講師にもパソコンを使っ

た授業ができるようにということで、35台分のパソコンが購入できるように補正予算を計上させていただきました。

(教育長)

新型コロナ対策の予算として、1期目に国から1校あたり1,000千円、半額は市の負担ということで補助金がありました。今年度は2期目として、1校あたり800千円の補助金がありました。今回の抗菌コーティングはその予算を活用しているので、新しいパソコンを補正予算に計上しましたが、市の財政も関係してくるので、どうなるかは分かりませんがまた報告したいと思います。この予算は学校毎に違う物を購入することも可能ですが、鳥羽は事務的負担や単価的なことも考えて、校長会に了承を得ながら統一した物を購入するという事で進めさせてもらいました。

(2)令和4年度当初予算

(教育長)

当初予算は、細かく計上しますが、大きなものだけ報告させていただきます。これは3月の議会で決定されますので、まだ計画段階です。教育委員会の方針として聞いていただければと思います。

①GIGA スクール構想関連

(学校教育課長)

GIGA スクール構想関係の予算は、まだ話を進めている段階です。ランニングコストやシステム管理、学習アプリのことについて等を考えています。今後、想定していないことがあるかもしれませんので、十分に先のことを考えて計上したいと思っています。

(教育長)

今までGIGA スクール構想の中で全児童生徒にタブレットを配布して、全学校にWi-Fi環境を整えました。また、サポートデスク等の体制も整えてきました。今後は、セキュリティ関係等、毎年必要な経費があります。また、学習アプリについても毎月お金が必要で、これは現在保護者負担でお願いしています。中学生が使用している英語のアプリについては、今年度は国の事業があり、無料で使用できましたが、来年度からはお金が必要になってきます。このアプリは英検対策には非常に効果的だということで、使い続けたいと考えています。鳥羽市は英検に力を入れていますので、一度市費で出せるように要求してみます。これは月に1人300円位です。離島地区などは、英会話教室や英語塾がありませんので、このアプリを使って、発音やヒアリングの勉強ができればいいと考えています。

②海洋教育の推進

(教育長)

海洋教育については、現在調整中です。鳥羽市の中にいくつも拠点を設け、そこを子ども達が訪れて、各拠点のプログラムを体験できるような拠点型の海洋教育推進をしていきたいと考えています。現在、拠点としては、鳥羽市水産研究所、三重大水産実験所、海の博物館、ミキモト真珠島、鳥羽水族館を考えています。民間企業とは、協定を結び連携していきたいと考えていますが、今後調整していく段階です。

③CSディレクターの配置

(教育長)

コミュニティ・スクールのディレクターを配置したいと考えています。今年度は集落支援員の制度を活用しようとして検討しましたが難しい面もありましたので、来年度は、コミュニティ・スクールに特化した人材の配置をお願いしたいと考えています。この方には、運営協議会の事務局や放課後子ども教室等の部分も担っていただきたいと思っています。

④鳥羽東中学校の設計業務

(総務課長)

学校統合計画の中では、鳥羽東中学校の所に長岡中学校、加茂中学校、できれば答志中学校が統合するという事になっています。鳥羽東中学校の校舎は築44年位経っていますので、改修をして、統合した後も30～40年位は使い続けられる学校にするよう前々から話を進めてきました。施設が大きいので、外注業務を予定しています。今回GIGAスクール構想の中でデジタル化はある程度進みましましたので、それに合わせた使い方ができるような学校を考えながら、少しお金をかけて修繕できるような設計業務を計上したいと考えています。

⑤ 施設・設備等の修繕等

(生涯学習課長)

8月の豪雨で「海の博物館」の展示棟が浸水しましたが、ボランティアの協力を得ながら水を掻き出すなど、緊急的な対応をしていただきました。現在も開館しておりますが、展示棟のカーペットと展示台がその時の影響を受けていますので、改修等にかかる経費の要求を検討しています。

その他、各地域に設置している「公民館」の部分修繕等のほか、市内文化財の保存等に必要環境整備等につきましても、状況を調査し、今後の対応を検討しております。

4. 教育委員活動報告

(委員 A)

10月20日に答志小学校と答志中学校を訪問してきましたので、報告させていただきます。

それぞれの校長先生から取組みについての説明をしていただきました。答志中学校では、海洋教育の一環として中学3年生の生徒がダイバーの資格を取得して、地域の人と一緒に藻場再生に取り組んでいるというお話を聞きました。統合の話もある中、どちらがいいという話ではありませんが、そういう充実した学校生活を送ることができるいい学校だと改めて感じました。離島留学の子が1人いて、お互いに良い刺激を受けながら学校生活ができているということで、これも良い取組だと思いました。

(委員 B)

私も、ダイバーの資格を取って地域の方と一緒に取組をされているということで、良い学校だと思いました。それを他の鳥羽の子ども達がしたいと思った時にできる仕組みがあるといいと思いました。

(委員 C)

海洋教育を熱心にされているということで、教育の中で地域の方と一緒に取り組んでいることが、答志ならではの特色だと感じました。良い意味ですごく驚きました。他の地区もこういったことができたらいいいと思いました。また、他の市内の中学生でも興味がある子は参加できるようにすると、さらに鳥羽市の中学生全体が海洋教育や地域を愛することにつながると思いました。

(委員 D)

ダイバーの資格の取組は新聞にも載っていて、私の地域でもぜひやりたいという声を聞きました。今の子ども達は海の近くに住んでいても、あまり海の中のことを知りません。こういう取組が他の漁村でもできれば海の中の生態系等を通して海洋教育につなげることができると思います。数人から、自分の地域でもしたいという声を聞きました。

(委員 A)

要望も聞いてきました。

中学校は、以前、大会の時等にスクールバスを使わせてもらったことがあり、それをいつも使えるようになったら非常にありがたいということでした。それと、台風等で、先生が学校に行けない時に、先日は鳥羽東中学校の教室をお借りして急遽オンライン授業を行ったそうです。そういった際に利用できる専用の場所があるとありがたいということでした。これは答志小学校や菅島小学校にも言えることかもしれません。あとは、体育館

<p>報 告 事 項</p>	<p>の窓が開きっぱなしになっていて閉まらないので何とかしてほしいということをおっしゃっていました。</p> <p>小学校は、自由に使える車が欲しいと言っていました。緊急時のシミュレーションの際に、中学校にある車を待つ時間がかかるので、小学校にも1台あると助かるということでした。</p> <p>小学校中学校共通の問題として、教職員の駐車場の自己負担が軽減されると嬉しいということでした。離島へ通う先生は色々大変な部分もあるので、先生が通いやすい環境を整えてほしいということでした。</p>
<p>委員質疑確認 及び 事務局応答説明</p>	<p>1. 教育長諸活動</p> <p>(委員 A)</p> <p>旧桃取小学校の管理についてはどうなっていますか。</p> <p>(総務課長)</p> <p>学校の建物等の施設は教育委員会が持っています。現在、一部を保育所が使用していますので、全体の普段使いに関しては保育所が管理しています。建物が壊れた場合等は使用していない学校を教育委員会で修繕することは難しいので対応できていない状況です。運動場の管理については、町内会に年2回の草刈りを委託して実施してもらっています。</p> <p>(委員 D)</p> <p>他の学校についても教えてください。</p> <p>(総務課長)</p> <p>管理者の基本的な考え方は同じです。町内会にある程度裁量をお渡しして使っていただいている部分もありますので、ある程度の管理もお願いしています。役員さんが変わったり、何か問題が出てきたりすると、その都度対応させてもらっています。</p> <p>(委員 D)</p> <p>学校の統合問題と閉校後の施設活用は一对だと思いますが、予算にも限りはあると思いますので、難しい問題だと思います。他の地域では聞きますが、鳥羽市内で学校跡地利用の成功事例はありますか。</p> <p>(教育長)</p> <p>旧鳥羽小学校が最たる例で、耐震の関係等もあり、なかなか跡地利用が進んでいません。その件に関しては、教育委員会の範疇を逸脱してしまうので、市全体として企業誘致を行う等をする必要があると思います。</p> <p>(総務課長)</p> <p>学校の施設は、一般の施設と消防や建築の基準が違います。このため、一般活用するためには、大掛かりなリフォームが必要です。建物自体も大</p>

<p>委員質疑確認 及び 事務局応答説明</p>	<p>きいので修繕費も莫大になるため、企業誘致を含め、なかなか進んでいない状況です。</p> <p>(委員 B) 閉校した学校にある遊具等の設備を、古くなった小学校へ持って行く計画等がありますか。</p> <p>(総務課長) ありません。例えば鏡浦小学校にある新しい倉庫を安楽島小学校に持って行こうかと思ひ見積りすると、新しい倉庫を設置するのと同等の予算が必要になってきますので、そのままにしています。</p> <p>3. (1)新型コロナへの学校対応状況</p> <p>(委員 D) 今年9月に緊急事態宣言が発令されて2学期の初めからリモート授業を行ったこともありましたが。夏休み明けは通常時でも子ども達が精神的に不安定になるという話も聞きました。そこでのリモート授業ということで、さらに出にくくなる等こういったことが原因で不登校になったような児童生徒の報告はありますか。</p> <p>(学校教育課長) 9月のリモート授業が原因で不登校になったという報告はありません。しかし、今年度は不登校の数が多い状況です。昨年度は小中学校で23人でした。例年20人程度はいますが、今年度は9月末時点で18人です。現在、HARPに通っている子どもは8名います。全員中学生で、学校に行けていない子どもの半分近くはHARPに通っている状況です。</p> <p>(委員 D) 今年も新型コロナの影響で通常とは違う学校生活を過ごしていると思いますので、今まで以上に子ども達の心のケアをしっかりとしてほしいと思います。2学期には色々と学校行事もあります。大人も忙しくなるとストレスが溜まることもありますので、しっかりみてほしいと思います。</p> <p>(委員 A) 以前、HARPを訪問させてもらった時に、その先生からは、不登校の要因は家庭環境が一番大きいと聞きましたが、現在の不登校の子はいじめが原因ということはありませんか。</p> <p>(教育長) 現在不登校の子ども18名は、生活習慣の問題や社会との結びつきにくさや家庭環境等色々と複雑な要因がありますが、少なくともいじめを要因</p>
----------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>委員質疑確認 及び 事務局応答説明</p>	<p>にして不登校になっていることはないと理解しています。</p> <p>(委員 C) 不登校の子どものカウント方法について教えてください。また、不登校の子ども達は、復帰するのでしょうか。</p> <p>(学校教育課長) 一年間に病気等を別にして、30日以上欠席したら不登校の児童生徒としてカウントします。4月は0人で累積していきます。このため不登校の子どもの中には、9月までに5日間位しか学校に行っていない子どももいれば、今、ちょうど30日欠席したという子どももいます。逆に10月に入って急に登校しにくくなり、10月に1日も登校していない子どもはまだカウントされていません。</p> <p>不登校になった子どもは、復帰する子どももいますし、そのまま復帰できない子どももいます。地域性や学年にもよると思います。例えば中学3年生の子どもは割と復帰しやすいです。受験等の目標が見えてくると出てくる場合もあります。一概には言えません。以前のように学校復帰だけを目標にすると子ども達も辛くなりますので、先生方もそこを目標に接していません。</p> <p>現在、何人かは別室登校をしています。一部の授業は教室で受けて他は別室とか、全て別室という子どももいます。そういう対応があることで、不登校を少なくできている部分もあると思います。</p> <p>(教育長) 今は、昔と比べて関係機関とも密に連携が図れる仕組みがあります。教育委員会では、HARPがありカウンセラーもいます。家庭を含めた問題になると、子育て支援室とも連携する等、現在は色々な選択肢があるのでかなり充実してきたと思います。不登校の人数は最近20名前後で推移していますが、分母の子どもの数は減っていますので、比率は上がってきていると思います。引き続き配慮していきたいと思います。</p> <p>4. 教育委員活動報告</p> <p>(教育長) 離島の先生の駐車場代の問題については、市の教育委員会だけでは難しいです。先生だけではなく島の方もこちらで駐車場料金を同じように負担していますので、そこも合わせて改善できるようにした方が良いと思います。</p> <p>(委員 D) 答志では、令和13年になると中学校は生徒が19名になり、先生の数</p>
----------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

委員質疑確認 及び 事務局応答説明	はそれほど減らないそうですが、答志小学校は来年度から実際に先生が2名減り、今後も答志中学校では、どんどん先生の数が増えて教頭先生も授業を持つようになるかもしれない状況だということでした。先生達のご負担が増えることになると思いますので、先生の来やすい環境が作ればと思います。よろしくお願いします。
-------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

件名	日程第3 報告第1号 教育長職務代理者の指名について
担当課説明等	(教育長) 任期満了により9月30日をもって退任した江崎委員に代わり、10月1日より教育長職務代理者として中村和久委員を指名しましたので、報告させていただきます。
委員質疑確認 及び 事務局応答説明	【質疑・応答／意見】 なし
議事結果	承認

件名	日程第4 その他
教育長説明等	1. 小学生のフッ化物洗口実施について (教育長) 小学校でフッ化物洗口を実施したいと考えていて研修会を行いました。1回目は8月に実施しました。その時は、校長会に合わせて県の健康福祉部と教育委員会に来てもらい、色々なデータを示しながらフッ化物洗口の有用性についてお話をいただきました。 2回目は10月18日の校長会に合わせて実施しました。この時には健康福祉課の保健師さんや養護教諭、職員代表にも入ってもらいました。 全国的には新潟県が先行してフッ化物洗口を行っていて、明らかに虫歯の数が少ないというデータが出ています。歯科医師会もフッ素塗布やフッ化物洗口については効果があると言っていて、県教委も積極的に推進しています。しかし、学校としてはフッ素の管理や実施等で先生方にさらに負担をかけることもあり、あまり積極的ではありません。鳥羽の現状としては、平成17年にかもめ幼稚園がフッ化物洗口を始めました。保育所は数年前から始めた所もあります。2年前からは全ての保育所で実施していま

<p>教育長説明等</p>	<p>す。</p> <p>今回は、令和4年度に小学校1年生から週1回の頻度で順次進めていきたいと提案しています。このことについてみなさんのご意見をお聞きしたいと思います。</p> <p>2. 学校統合計画の進捗について (教育長)</p> <p>学校統合計画は令和3年版ができました。答志地区では9月に懇談会を予定していましたが、新型コロナの影響で10月15日に実施しました。今回は小学校や未就学児の保護者を対象にさせていただきました。全体の4割程度の方に参加していただいたと思います。一人一人にマイクを持ってもらい発言していただきましたが、統合に積極的に賛成だという意見はほとんどありませんでした。今後、2人や3人の学年もでてきますが、それでも残したいという意見の方もいらっしゃいました。現状としてお伝えしたことは、統合計画の中で、保護者の賛成がないと統合は進めないと書いていますので、以前の計画の令和4年の統合はありません。その後は2年単位で考えましようと言っています。次の令和6年についても準備期間も必要ですので、現状を考えると難しいと思います。その次の令和8年にみなさんの賛成が得られれば統合という方向で進めたいとお伝えしました。</p> <p>3. かもめ幼稚園の認定こども園化と保育所の統合計画について (総務課長)</p> <p>かもめ幼稚園は、現在、3～5歳児で合計29人です。多い時には100人近く在籍していた幼稚園でしたが、最近は各年齢10人程度になってきました。安楽島保育所やおぞら保育所は、0～2歳児も含めますが、120人～130人規模で在籍しています。保護者の働き方や家族構成が変わってきて、低年齢から預けたいご家庭が増えて、3歳児になってもそのまま保育所に通う子どもが多くなってきています。また、かもめ幼稚園は低地に建っていることもあり、津波等の災害が心配です。また、現状のままではお金をかけて直すことも難しい状況です。</p> <p>認定こども園とは、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ制度です。かもめ幼稚園の認定こども園化も考えながら移設できればと考えています。健康福祉課の子育て支援室が保育所を管理していますが、今後、保育所の統廃合の計画を検討していくそうです。かもめ幼稚園は教育委員会の管理ですが、その計画に幼稚園の位置付けもしながら検討を進めていく予定になっ</p>
---------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>教育長説明等</p>	<p>ています。</p> <p>現在、国の方針では幼稚園も保育所も3・4・5歳児の目指す姿は統一されています。ただ、幼稚園は勉強する所、保育所は預けるだけの所というイメージがありますが、法律上は保育所も同じ子どもの姿を目指しています。幼稚園に通った保護者の中には、特別な幼児教育を受けることができるのが幼稚園というイメージもあると思います。鳥羽市の幼児教育の部分も統一した形で進めることが必要になっていると思います。</p> <p>今後、こども園化も視野に入れて進めたいと考えています。移転できる施設があれば話は進みやすいと思いますが、今のところはありませんので、もう少し時間はかかると思っています。保育所の統廃合の計画も含め、一緒に検討していきたいと考えています。</p>
<p>委員質疑確認 及び 事務局応答説明</p>	<p>【質疑・応答／意見】</p> <p>1. 小学生のフッ化物洗口実施について</p> <p>(委員 A)</p> <p>鳥羽市の子どもの虫歯が多いというデータはありますか。</p> <p>(教育長)</p> <p>健康福祉部の保健師さんと養護教諭のデータに少し食い違いがありますので、現在もう一度データを精査しているところです。問題になっている点として、虫歯のある子どもとない子どもが2極化していることがあげられています。虫歯のない子どもはご家庭でしっかり管理されていますが、虫歯のある子どもは10本以上ある子どももいます。現在、子どもは医療費が無料ですので、子どもの歯のケアができていないご家庭もあるということが問題で、危惧しています。</p> <p>(教育長)</p> <p>フッ化物洗口の令和4年度小学校1年生週1回実施について、みなさんのご意見はいかがでしょうか。</p> <p>(全員)</p> <p>実施した方がいいと思います。</p> <p>(教育長)</p> <p>各ご家庭にフッ化物洗口の実施について確認したいと思います。したくないご家庭のお子さんには実施しません。再度学校にフッ化物洗口を始められるように話したいと思います。</p> <p>2. 学校統合計画の進捗について</p> <p>(委員 D)</p>

<p>委員質疑確認 及び 事務局応答説明</p>	<p>一旦令和8年に向けてということですが、それまで4年以上ありますが、地区懇談会等については、どのようにお考えですか。</p> <p>(教育長)</p> <p>地区懇談会は引き続き定期的に続けて行こうと考えています。私達が統合の話に行った時だけそのことを考えるのではなく、普段の生活の中でもご家庭や地域の中で積極的に話をさせていただき、その相談してもらっている内容を私達がお訪ねした時にお話しただけのようになればいいと思っています。</p> <p>(委員 A)</p> <p>統合のメリット・デメリットについては教育長からもしっかりお話しただいていると思います。令和8年までは少し時間がありますので、保護者にもしっかり勉強して考えてほしいと思います。上の世代の人の中にはあえて反対している部分もあると思います。その中で、地域の活性化や住みやすい環境づくり、若い人の仕事のこと等考える機会にもなっていると思います。</p> <p>(委員 D)</p> <p>実際に中学生の数が減ってきて、先生の数も減ってきてそれが実感された時に、人数が減ることのデメリットが身に染みて感じられるかもしれません。その時に考え方が変わる可能性もあると思います。</p> <p>(委員 C)</p> <p>学校統合の話し合いの時に保護者の意見は聞かれますが、子どもの意見を聞く機会がありますか。</p> <p>(教育長)</p> <p>今のところその予定はありません。私の今までの経験上、子ども達は経験が少ないので、今以上のものを想像することが難しいと思います。今の環境と変わるの嫌だなと思うことはあると思います。</p> <p>鏡浦小学校や小浜小学校も、初めに安楽島小学校や鳥羽小学校を選んで通うご家庭が増えてきて、児童数が減ってきて統合することになりました。こういった時にも選択しているのは保護者だと思います。その子にとって、将来的に何がいいのかということを保護者が責任を持って考えるべきだと思います。</p> <p>(委員 C)</p> <p>先日、答志中学校を訪問した際に、特徴的で魅力がある学校だということ</p>
----------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>委員質疑確認 及び 事務局応答説明</p>	<p>とは感じました。学校がなくなり、文化が均一化されることは寂しいと感じました。</p> <p>(教育長)</p> <p>令和3年版の統合計画にも書かせてもらっていますが、地域の文化や教育を受ける場として小学校は現在のまま残していく方針です。中学生になったら、多様性に触れ、たくさんの選択肢から自分で選択できるように、ある程度の規模で学ぶ方が良いということになっています。この計画に基づき懇談会を開催しています。学校を統合してもスクールバスの運行等が出てきますので、鳥羽市の予算としてはそれ程変わりません。予算的に学校の数を減らしたいということではありません。</p> <p>理想としては、様々な地域性を持った子が1つの中学校に集まって、選択制でそれぞれの地域に分かれて地域独自の勉強ができればと思っています。今後生まれてくる子どもの数を考えても、地域の祭り等の文化を担うのは大変だと思います。その子ども達の中には将来的に違う道を選びたい子どもがいるかもしれないけれども、今のままでは、子どもに地域を担う役割など縛りがでてくることに不安を感じる。逆に、例えば答志のことを他の地区、長岡や加茂の子が勉強したくなるような環境や状況を作って、鳥羽市の子どもが全体で地域を支えられるようにしないとそれぞれの地域が持たないと思います。</p> <p>(委員 D)</p> <p>中学校は教科の専門の先生に教えてもらった方がいいと思います。その子のポテンシャルを伸ばしてあげるためにも、美術等も専門の先生に教えてもらえればその子の可能性が広がると思います。地元の祭りに中学生を参加させたい場合等は、町内会長から学校にお願いすれば対応してもらえる等の仕組みを作ればいいと思います。</p> <p>(委員 A)</p> <p>大人数の中で多様性に触れることが子どもにとって大切だということは理解できます。でも、少人数の中で育ってきている島の人達には受け入れにくい感情もあると思います。現在は他の学校の子と関わろうと思えば関わられる環境があると思います。何も考えずに何もしなければどんどん過疎化は進むと思うので、保護者には色々考えてもらいたいと思います。</p> <p>(教育長)</p> <p>統合前には、今までしたことないことをやるので、不安はあると思います。実際に船に乗って鳥羽東中学校へ行ってみる体験をしてみるのもいいと思います。統合した他の地区の感想等を聞くのもいいと思います。2～3人になっても学校を存続したいと言われた場合は、教育を司る者として、それで十分な教育ができますよとは言えません。適正規模という考え方もありますので、不安をいかに取り除くかということを考えながら進めたい</p>
----------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>委員質疑確認 及び 事務局応答説明</p>	<p>と思います。また、焦らないことも大切だと思っています。令和8年までは少し時間がありますので、じっくりと考えてもらいながら進めたいと考えています。</p> <p>(委員 D)</p> <p>加茂中学校について何か進展はありますか。また、長岡地区についても懇談会の機会を設けてほしいと思います。</p> <p>(教育長)</p> <p>加茂地区の懇談会も日程調整をして進めたいと考えています。長岡地区もスクールバスの運行のこと等ありますので、懇談会をしたいと思います。</p> <p>3. かもめ幼稚園の認定こども園化と保育所の統合計画について</p> <p>(委員 C)</p> <p>認定こども園について詳しく説明してください。</p> <p>(総務課長)</p> <p>幼稚園は保護者が働いていなくても子どもを預けることができます。保育所は親が働いている間に子どもを預かってもらう施設ということでこれまでの区分けしてきました。幼稚園は2時まで、保育所は4時半まで。それ以降6時半頃まで延長している保育所もあります。認定こども園になると、親が家にいて、早く迎えに来られる家庭は2時で帰ってもいいですし、保育所みたいに保護者が働いていて迎えに来られない家庭は4時半や6時半まで預かることができます。ひとつの園で両方のサービスが提供できるというのが、認定こども園です。</p> <p>(委員 D)</p> <p>幼稚園の訪問をした際に、幼稚園には幼稚園の良さがあると聞きました。現場の声等を聞きながら、色々勉強した方がいいと思います。</p> <p>(総務課長)</p> <p>来年度のかもめ幼稚園の入園希望者は14人です。定員からすると余裕がありますので、全員入園してもらおうと思っています。年明けに決定通知を出す予定です。</p>
<p>議 事 結 果</p>	<p>承 認</p>

午後4時20分 閉 会